

2019年 月 日

大学図書館コンソーシアム連合 (JUSTICE)  
会員館 各位

「JUSTICE 提案書情報のデータ共有に関する実証実験」  
協力機関の募集について (依頼)

大学図書館コンソーシアム連合  
運営委員長 市古みどり  
これからの学術情報システム構築検討委員会  
委員長 小山 憲司

大学図書館コンソーシアム連合 (以下, JUSTICE) とこれからの学術情報システム構築検討委員会 (以下, これから委員会) は, 会員館とのデータ共有を目的とし, 出版社から JUSTICE に提出された提案書のうち, タイトルリスト及びライセンス情報について, データ化・標準化に取り組んできました。

この度, この活動の一環として, JUSTICE 提案書情報のデータ共有に関する実証実験を実施いたします。JUSTICE 会員館の皆様におかれましては, 『「JUSTICE 提案書情報のデータ共有に関する実証実験」募集要領』をご確認の上, 参加についてご検討いただきますよう, 何卒よろしくお願い申し上げます。

なお, 本実証実験は, これから委員会が 2019年2月付で公開した『これからの学術情報システムの在り方について (2019)』<sup>1</sup>に基づく活動の一部として実施するものです。

【本件に関する連絡先】

これからの学術情報システム構築検討委員会 事務局  
Tel: 03-4212-2322 / E-Mail: co\_korekara@nii.ac.jp

---

<sup>1</sup> [https://www.nii.ac.jp/content/korekara/archive/korekara\\_doc20190215.pdf](https://www.nii.ac.jp/content/korekara/archive/korekara_doc20190215.pdf)

## 「JUSTICE 提案書情報のデータ共有に関する実証実験」募集要領

### 1. 概要

大学図書館コンソーシアム連合（以下、JUSTICE）とこれからの学術情報システム構築検討委員会（以下、これから委員会）は、JUSTICE 会員館とのデータ共有を目的とし、出版社から JUSTICE に提出された提案書のうち、タイトルリスト及びライセンス情報のデータ化・標準化に取り組んでいます。これまでに、JUSTICE に提出された提案書等の情報を国立情報学研究所（以下、NII）が用意する中央システムへ登録するための整備を行ってきました。

本実証実験では、このデータを実際に JUSTICE 会員館において活用し、電子リソース管理の効率化やローカルシステム（OPAC、リンクリゾルバ、ディスカバリーサービス等）を通じたサービス拡充につなげられるかを確認します。今後 JUSTICE で共有するデータをより効果的なものとするため、広く実証実験への参加機関を募集いたします。

### 2. 参加条件

JUSTICE 会員館であること。

### 3. 期間

2019 年 12 月～2020 年 3 月（2019 年度）

※ 次年度以降も、実証実験を継続する場合があります（改めて意向を確認いたします）。

### 4. 実施内容

別紙 1「JUSTICE 提案書情報のデータ共有に関する実証実験 実施手順」のとおり

※ 各機関で実証実験をご担当いただく方の中から、これから委員会の「システムワークフロー検討作業部会」の活動にも加わっていただくことをお願いする場合があります。

※ JUSTICE 提案書情報のデータのサンプルは、以下の URL より取得できます。

[https://dx.ss.nii.ac.jp/public/b830gAaPS4aA8M4B\\_utuBtsPWaD3MXAY-3K0Ap5sqbRP](https://dx.ss.nii.ac.jp/public/b830gAaPS4aA8M4B_utuBtsPWaD3MXAY-3K0Ap5sqbRP)

### 5. 期待される効果

- ・ JUSTICE アクセス可能なタイトルの入替作業は、JUSTICE 会員館それぞれが個別に行ってきたが、重複作業が一元的に行われることで、業務が効率化されます。
- ・ 利用条件等のライセンス情報が、標準化された項目によって提供されることにより、JUSTICE 会員館の契約担当者、サービス担当者、エンドユーザーによる電子リソース活用が広がります。

### 6. 申込方法

本実証実験にご協力いただける機関につきましては、Web フォームからお申し込みをお願いいたします。（別紙 2「JUSTICE 提案書情報のデータ共有に関する実証実験申込フォーム」、提出期限：2019 年 月 日）

### 7. 実証実験期間中のコミュニケーション

- ・ 本実証実験にご協力をいただける機関の間での情報共有を目的として、コミュニケ

ーションツール（Backlog 等）を使用します。

- ・ 進捗確認等のため、Web 会議（WebEx）を開催します（月 1 回程度）。
- ・ 成果の公開を目的として、フィードバックを取りまとめて JUSTICE 参加館およびこれから委員会へ報告を行います。

参考 本件で使用する中央システムの整備スケジュール（予定）

以下は、JUSTICE 事務局、これから委員会、及び NII が整備する中央システムの予定スケジュールです。

時期	実施内容
2019 年度	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 標準項目の設定（ライセンス情報、タイトルリスト）</li><li>・ 中央システムの整備</li><li>・ データの試験提供</li></ul>
2020～2021 年度	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 標準項目の評価、見直し</li><li>・ JUSTICE 提案書及び付随文書の様式調整</li><li>・ 中央システムの整備</li><li>・ データの試験提供</li></ul>
2022 年度	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 正式運用の開始</li></ul>

以上

**【申込先・連絡先】**

これからの学術情報システム構築検討委員会 事務局

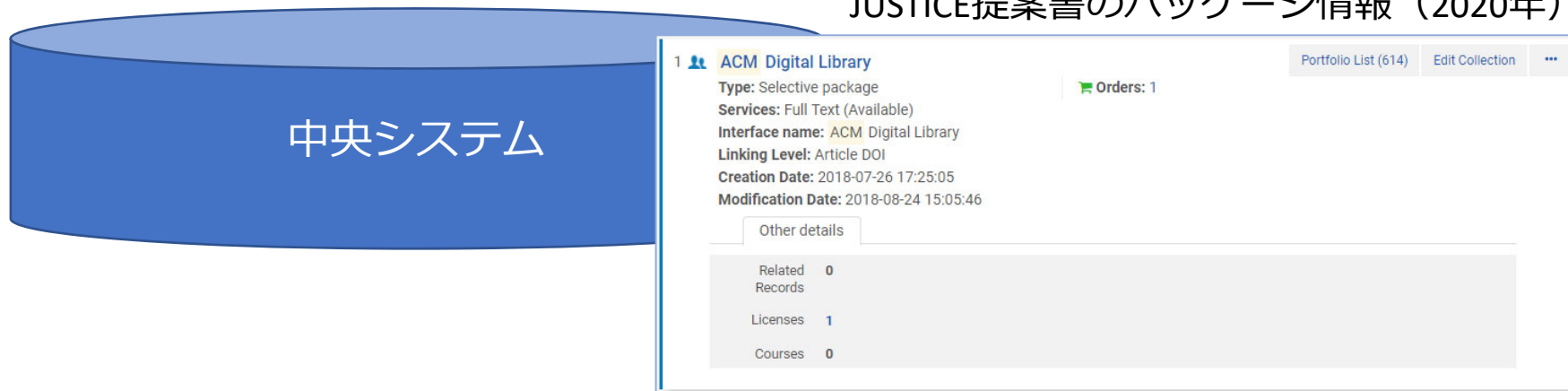
Tel: 03-4212-2322 / E-Mail: co\_korekara@nii.ac.jp

# JUSTICE提案書情報のデータ共有 に関する実証実験

## 実施手順

# データ正規化・システム登録【JUSTICE作業】

JUSTICE提案書のパッケージ情報（2020年）



タイトル  
リスト

1 <b>PEPM: ACM/SIGPLAN Workshop Partial Evaluation and Semantics-Based Program</b> <span>Edit Portfolio Order ...</span>
Manipulation ACM Digital Library: getFullTxt Available from 1991.
Other details
2 <b>VolVis: Symposium on Volume Visualization</b> <span>Edit Portfolio Order ...</span>
ACM Digital Library: getFullTxt Available from 1989 until 2002.
Other details
3 <b>Electronic publishing &amp; printing.</b> <span>Edit Portfolio Order ...</span>
ACM Digital Library: getFullTxt Available from 1989 until 1991.
Other details

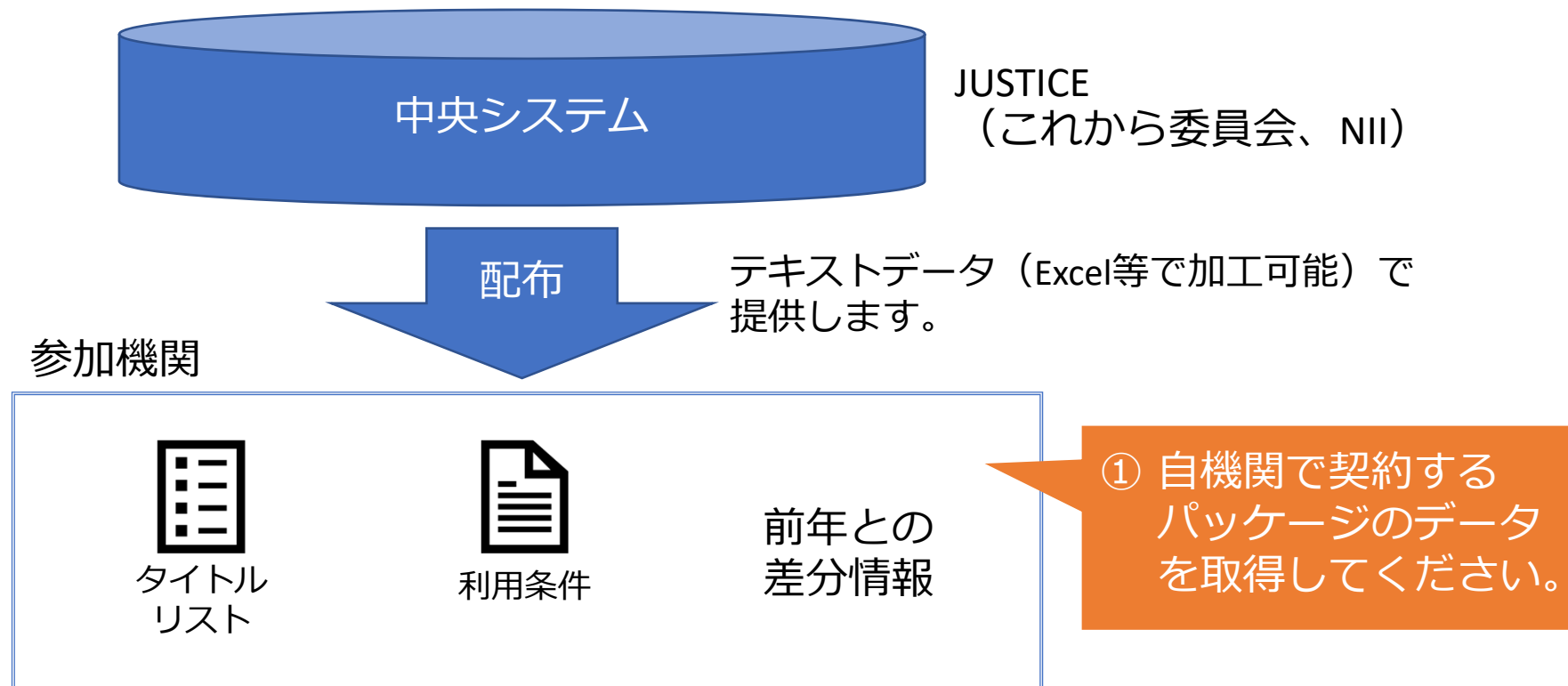


利用条件

Concurrent User	N/A
Concurrent Users Note	無制限
Concurrent User Reference	N/A
Remote Access	Yes
Remote Access Note	契約機関に所属する利用者が、契約機関のネットワークを介してアクセスする方法であれば認められます。契約機関側でアクセス認証・管理をし、登録 IP アドレスはその機関で取得している範囲内であることが必須となります。
Remote Access Reference	N/A
Walk in User	Yes
Walk in User Note	契約機関の図書館が該当者の図書館資料利用を認める限りにおいて可能。図書館内での利用に限定されます。
Walk in User Reference	ACM PUBLISHING POLICY COVERING COPYRIGHT TRANSFER AND PUBLISHING LICENSE AGREEMENTS, AND PERMISSIONS 3.3 Educational and Library Uses of Copyrighted Material Walk-ins
Interlibrary loan electronic	Prohibited
Interlibrary Loan Electronic To Users	Prohibited

- JUSTICE提案書のデータ正規化・システム登録は、JUSTICE事務局とNIIが行います。
- 必要なシステム環境（中央システム）は、これから委員会とNIIが提供します。

# 作業① データ取得

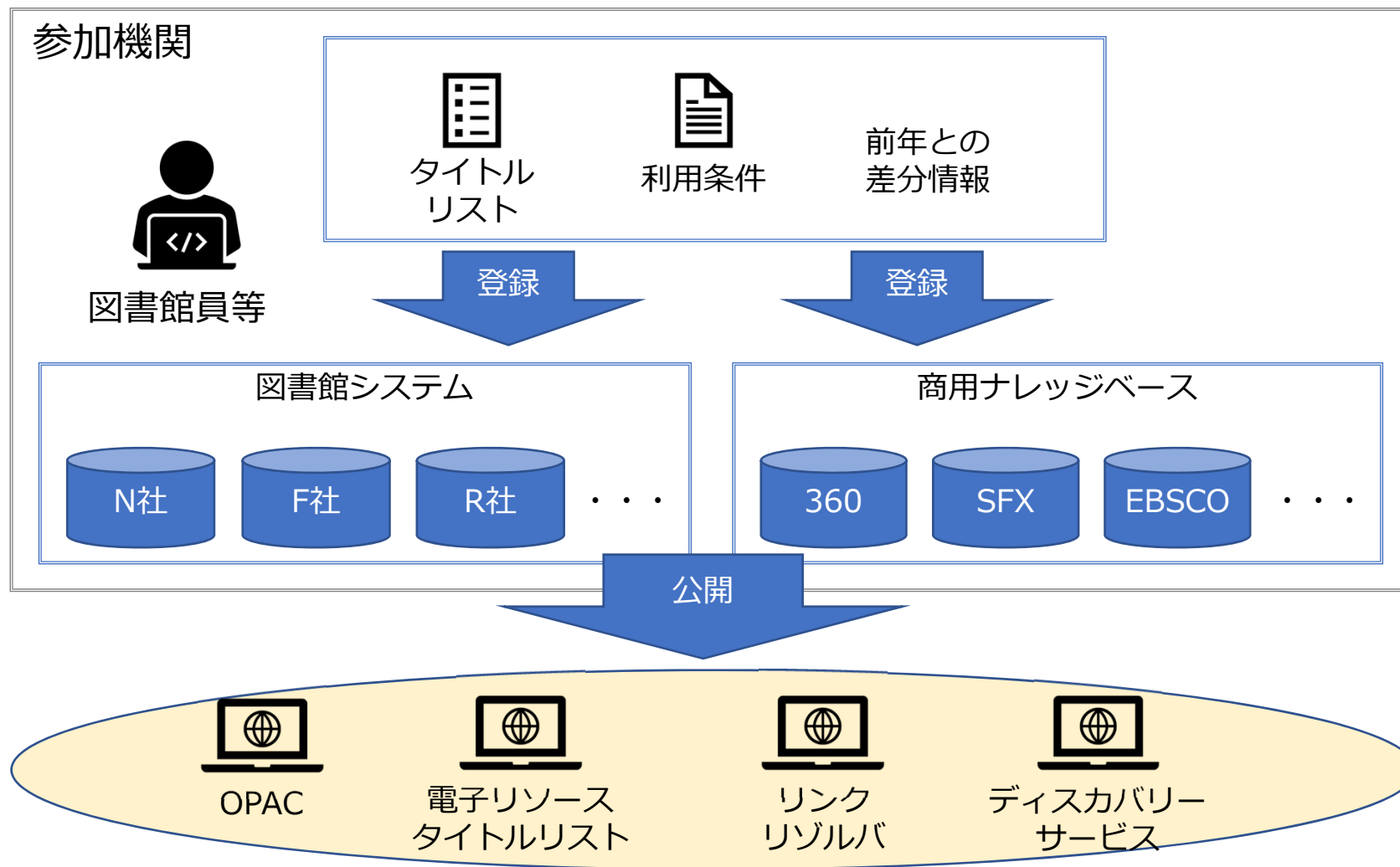


## 対象パッケージ (2020年向け提案)

Elsevier xxx, Springer Nature yyy, Wiley zzz,  
ACM Digital Library, …

※ ほかに活用したいパッケージがありましたら、お知らせください。

## 作業② 自機関での活用



② 取得したデータを、自機関の電子リソース管理やユーザーサービスに活用してください。

# 実証実験参加館間の情報共有

(作成中)



# 作業③ フィードバック

- 出版社+パッケージ名
- データの提供要否
- 自機関における活用内容
- データの項目
- データの提供（更新）頻度
- タイトルリスト、ライセンス情報以外に必要なとするデータ
- . . .

提出

③ Webフォームへの入力をお願いします。

JUSTICE  
(これから委員会、NII)

結果の共有（JUSTICE会員館・これから委員会）

（作成中）

## JUSTICE提案書情報のデータ共有に関する実証実験申込フォーム

JUSTICE提案書情報のデータ共有に関する実証実験への申請フォームです。  
ご不明な点については、これからの学術情報システム構築検討委員会 事務局  
(Tel: 03-4212-2322 / E-Mail: co\_korekara@nii.ac.jp) までお問い合わせください。

\*1. 機関名

\*2. 機関種別

\*3. 担当係または担当者名

\*4. 電話番号

5. メールアドレス

\*6. 実証実験に用いるローカルシステム

- 図書館システム (OPAC)
- リンクリゾルバ
- ディスカバリーサービス
- その他

7. 質問・コメント